

■工事概要

本館棟

耐震改修部分には現場溶接が伴う為、施工範囲の壁・天井解体等が必要

給水・給湯・ガス・消火・排水（未改修部分）の改修を行う為、天井解体が必要

天井解体・壁下地解体を行った部分については復旧し全面的に仕上げを行う

外部	屋根はガルバリウム鋼板製の一字葺きに葺き替え
	外壁ALCは吹付仕上げの再施工
	オイルタンクはメンテナンス・オーバーホールし再利用する
	玄関庇は現況バスが転回できているため再塗装し利用する。柱間の花壇部分は撤去
厨房	耐震改修による筋違ブレース・頼杖の設置。それに伴い天井解体、窓の封鎖を行う
	耐震改修に伴い厨房エリアの拡大
	厨房機器の全面的入れ替え
	下処理室・検収室・厨房事務室・調理室トイレ・厨房倉庫の設置
レストラン	耐震改修に伴い頼杖・水平ブレースの設置。それに伴い天井解体を行う
	厨房内を見せないように衝立の新設（旧112.00㎡→新106.23㎡（利用上面積変更は無い））
ロビー	耐震改修に伴い頼杖・水平ブレースの設置。それに伴い天井解体を行う
売店	耐震改修による筋違ブレース・頼杖の設置。それに伴い天井解体を行う
	耐震改修に伴い売店エリアの縮小
	商品棚の工夫、ストックヤードの確保を行う
階段A	階段の入れ替えは取止め
	窓の幅を広げ、換気対策を行う
大宴会場	耐震改修による筋違ブレース・頼杖の設置。それに伴い天井解体・壁下地解体を行う
	廊下との段差を無くし、バリアフリー化を図る
	スライディングウォールを設置し、3区画できるように考慮
事務室	耐震改修による頼杖の設置。それに伴い天井解体・部分的壁下地解体を行う
宿直室	耐震改修による筋違ブレース・頼杖の設置。それに伴い天井解体・部分的壁下地解体を行う
1Fパントリー	現在の湯沸室の面積を広げ、宴会場への配膳に考慮
休憩室01	耐震改修による筋違ブレース・頼杖の設置。それに伴い天井解体・部分的壁下地解体を行う
更衣室01	間取り変更に伴い壁下地の解体を行う
休憩室02	耐震改修による筋違ブレース・頼杖の設置。それに伴い天井解体・部分的壁下地解体を行う
更衣室02	間取り変更に伴い壁下地の解体を行う
小宴会場	耐震改修による頼杖の設置。それに伴い天井解体を行う
1F廊下	耐震改修による頼杖の設置。それに伴い天井解体・部分的壁下地解体を行う
	防火区画による防火戸の再復旧
2Fパントリー	耐震改修に伴い水平ブレースの設置。それに伴い天井解体を行う
	食器等が洗浄できる程度の設備の新設
小荷物昇降機室	耐震改修に伴い水平ブレースの設置。それに伴い天井解体を行う
男子トイレ	既存小便器を自動洗浄型に入れ替え
女子トイレ	耐震改修に伴い水平ブレースの設置。それに伴い天井解体を行う
客室共通	配管関係の遣り替えに伴い天井解体を行う
	耐震改修に伴い筋替ブレース・水平ブレースの設置。それに伴い天井解体を行う
客室14・15	遮音対策として壁下地の改修を行う

2F廊下	耐震改修に伴い水平ブレースの設置。それに伴い天井解体を行う
------	-------------------------------

新館棟

リネン室	洗濯機置き場、掃除用流しの設置
多目的トイレ	廊下に車椅子対応トイレの設置
男子トイレ	廊下に洋式便器1台、小便器1台、手洗い器1台
女子トイレ	廊下に洋式便器1台、手洗い器1台
客室01～07	4畳の小上がりの設置。室内にトイレ・洗面流しを設置 1室の床面積は35.91㎡（21.6畳、10.9坪）
客室01・05	車いす対応のトイレの設置
客室08	8畳の小上がり（掘り炬燵対応）の設置。室内にトイレ・洗面流し・浴室を設置 小上りは障子で仕切りできるように検討 床面積は48.60㎡（29.3畳、14.7坪）
家族風呂	湿気対策として鉄筋コンクリート造とする 13.5㎡程度（4～5名利用想定）を設置 檜風呂をイメージし、源泉掛け流しとしてPRに繋げる 目隠しフェンスを設置し、お風呂からの眺望に配慮
機械室	騒音対策・湿気対策として鉄筋コンクリート造とする

多目的上屋

構造は木造。お蔵をイメージした外観とし、外部のウッドデッキでテーブルを出してくつろげるよう検討

室内部分68.04㎡（20.6坪）屋外部分38.88㎡（10.3坪）

クラフト等の売店エリア確保、おしゃべりの場として囲炉裏端を演出、お茶やちょっとした料理ができる流し台の設置

暖房はペレットストーブと補助暖房で対応

■設計協議確認事項

赤字・・・これまでの打合せで方向性の決定した事項

1.既存樫の木荘宿泊棟

1. 1. 耐震補強

IS値0.6が満足できるよう耐震補強を行う。それに伴って、天井・壁の仕上げの遣り替えが必要

1. 2. ユニバーサルデザインによる全館バリアフリー化

大宴会場と廊下の段差は無くしバリアフリー化を図る。又、新館棟と本館棟の床高はフラットにする

○高齢者、外国人来訪者などに配慮

建物内部は和風を基調とし、落ち着いた色彩に考慮

○宴会場の音漏れ等による客室への影響をなくす

○階段の傾斜角、蹴上、踏面などに配慮

○階段の付替え等を検討

予算の都合上、階段付け替えは取止めとする

高齢者や体が不自由な方は新館棟を使用してもらう様対応

1. 3. 屋根葺き替え

○維持管理に配慮して、耐久性のあるもの

○雪及び落ち葉等が堆積しない設え

屋根裏の断熱補強し、屋根材はガルバリウム塗装鋼板の一字葺きに葺き替えを行う

1. 4. 給排水設備の入替

○既存樫の木荘の浴室及び1階トイレ以外の全給排水設備の入替

浴室・便所棟を除く、給水・給湯・ガス・消火・排水（未改修部分）を改修

○構造等を確認し、可能であれば既存樫の木荘客室の改装に合わせて洗面設置を検討

現況各客室に洗面台が有り、配管等不具合の補修を行った上、洗面器の取替を行う

1. 5. 厨房の改修

○保健所の指導による改修及び設備入替

厨房機器の全面的入れ替えにより配膳-下膳の動線を整理し、使いやすく改善する。

また、宴会場前に専用パントリーを設置し、サービスの向上をはかる。

○換気設備の改修

人が多く集まる宴会場やレストランは排気による熱ロスが多くなるため、熱交換形換気扇を設置する。

□「売れる売店」としての空間づくりと運営方法を十分検討すること。

商品棚の工夫、ストックヤードの確保を行う

1. 6. 換気及び空調（冷暖房）設備の設置

寒冷地でも使える、高暖房型で電気式のビル用マルチエアコンに改修するほか、窓が大きいレストランは窓下に放熱器を設置し、コールドドラフト対策を行う。

○屋内に風が通るように

風の流れを生むため階段部分の排煙窓の拡張改修を行い空気の流れに工夫を行う

○宴会場、客室、レストラン、2階廊下部

各エリアごとにマルチエアコンを設置し管理しやすい様配慮

○温泉排熱利用を検討（補助金利用も検討）…4月以降にあらためて関係機関と協議

設備費が膨大になり、機構も複雑となる。予算の都合上、取り止めとする。配湯量の調整を行い捨てる分を極力減らす様調整を行う

1. 7. 新館への渡り廊下設置

○中庭等の設えと一体的に検討

本館棟（宴会場）と機械室棟の間を通るように計画。機械室棟廻りの目隠しを検討

1. 8. 玄関周り、ホール改修

○大型バスの寄付きを考慮し、回転ができること。

○ひさしを設置のこと

大型バスは現在回転が出来る為、現況の玄関庇は残し、軒天の改修・再塗装・柱間の花壇部分を取り払うことで対応

1. 9. ゲームコーナーを洗濯室に改修

○宿泊客が利用する洗濯機を2基程度設置予定

洗濯コーナーの設置

1. 10. 2階ベランダ下 アスベストの撤去

撤去の上、改修を行う

1. 11. 2階男子便所の小便器取替

○自動洗浄式

自動洗浄式小便器の設置

1. 12. 自家発電設備設置場所の新設

災害用自家発電装置は必要発電量が確保できる物を選定し、コンパクト化を図る。設置場所はリニューアルした旧温泉タンク架台下部に設置を検討

1. 13. その他

○災害時に仮設トイレとして活用可能なマンホールを設置

○客室のドアの開閉をスムーズに

2. 合宿棟、新館

2. 1. 既存合宿棟の解体○撤去

○ボイラー室のアスベスト撤去

アスベスト撤去の上、合宿棟の解体を行う

2. 2. 客室棟新築

○8室（内1室は8～10名程度の宿泊が可能な部屋を検討）

○定員4名（通常時は2名利用）

○ツインベッド+4畳程度のフリースペース

○洋式トイレ1基

○洗面1基

○車いす利用を考慮すること

普通客室（7室）と特別客室（1室）を設定。各室にシングルベット2台と4畳（特別客室-8畳）の小上りを設える。2部屋は車いす用トイレの設置。

2. 3. 家族風呂、多目的トイレ

○インバウンド利用も考慮

家族風呂として13.5㎡程度（4～5名利用想定）の浴室を新館棟内に設置。源泉掛け流しとしPRに繋げる

廊下には多目的トイレ、男子トイレ、女子トイレの設置

3. 多目的スペース

3. 1. 既存縦の木荘東側に多目的スペースを新設

○100㎡程度

○薪ストーブ又は暖炉を設置

○給排水設備

○土足での利用

○住民、宿泊客双方が気軽に利用できる空間

○見た目が良くおしゃれなこと

○ゆったりとくつろげる工夫

○開放的で温かみのある設えて、入口を利用しやすいように工夫

お蔵をイメージした外観とし、外部のウッドデッキでテーブルを出してくつろげるよう検討

木造の建物とし、売店エリア、おしゃべりの場、給排水を盛り込む。暖房はペレットストーブやその他の補助暖房を設置

○星空を堪能できる工夫（展望楼など、新館での対応も可）

旧温泉タンクをリニューアルし、展望楼として再利用する

4. 外構、その他

4. 1. 外構

○池の撤去…彫像は保存する

ロータリー部分の池は芝生に置換、彫像周りの整備を行う

○外構部の配置換え等によりもみの湯との連携を強化、散歩コースの設置など

全体計画の中で検討を進める

4. 2. その他

○マレット場など周辺施設との連携や、営業ネットワークによる積極的な誘客

○名称変更について検料・・・条例改正が必要

○施設北側村有地の林の整備

5. その他提案事項

○予算との兼ね合いもあるが、断熱性向上の為、屋根裏・壁の断熱補強、サッシ・ガラスの入れ替えを検討していく

○断熱性能を向上し、ランニングコスト削減を考慮